

- 1288 1282.47-62 『作品論』
- 1289 1288.47-52 『少女と冒険と』『不思議の国のアリス』論 『中野節子』  
②003,004,681 ③0477
- 1290 1288.53-57 『鏡の国のアリス』に見られる子どもの世界 『大塚菊子』  
②004,177,681 ③0115,0555,0593,0780,0977
- 1291 1288.58-62 『シルヴィーとブルーノ』 『桂宥子』  
②004,032,647,660,681 ③0606,0954
- 1292 1282.63 『ルイス・キャロル学会のこと』 『吉田新一』
- 1293 1282.64-78 『キャロル・グラフィティ』
- 1294 1293.64-65 『スウィフトとキャロル』『児童文学の原型としての『ガリバー旅行記』と『不思議の国のアリス』』 『増淵正史』  
②004
- 1295 1293.65-66 『ノンセンスの詩人と数学者と』 『キャロルとリア』 『中野節子』  
②004
- 1296 1293.66-67 『キャロルとジョイス』 『田中英史』  
②647
- 1297 1293.67-68 『キャロルとワイトゲンシュタイン』 『鶴木奎治郎』  
②004,305,647
- 1298 1293.68-69 『キャロルと賢治』 『吉田新一』  
②004 ⑤1353
- 1299 1293.69-70 『アリスとなぞなぞ』 『谷本誠剛』  
②004
- 1300 1293.70-71 『キャロルとマザー・グース』 『松峯隆三』  
②004,038,275,681
- 1301 1293.71-72 『ビートルズとキャロル』 『中村敬』  
②004,681
- 1302 1293.72-74 『ノンセンスの故郷』 『渡辺秀雄』  
②004,637
- 1303 1293.74-75 『ディアズベリィとギルフォード』 『キャロルの生れた村と死んだ町』 『三宅興子』  
②285,678